

(別紙 6)

青森県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る
評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

本県では、指定管理鳥獣であるニホンジカやイノシシの生息域が年々拡大していることから、県内の農林業被害や生態系への影響等が懸念されている。

一方、これらを捕獲する狩猟者の減少や高齢化などにより、持続的な狩猟体制を維持することが困難な状況であり、かつ、青森県の多くの狩猟者は鳥類や小動物を狩猟対象としているため、大型獣類の捕獲技術を有する狩猟者は少ない状況にある。

そこで、指定管理鳥獣等の捕獲に必要な狩猟技術の向上を図るとともに、人獣共通感染症の予防対策として捕獲した個体の適切な解体処理技術の知見を有した狩猟者を養成する必要がある。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

実施時期	○知識講習会 令和6年10月26日 ○狩猟技能講習会 令和6年10月27日 ○狩猟体験 令和6年12月7、8日
場所	○知識講習会 青森市（青森県労働福祉会館） ○狩猟技能講習会 東北町（ヌマガンショップライフル射撃場） ○狩猟体験 岩手県釜石市
目的	指定管理鳥獣等の捕獲に必要な狩猟技術の向上を図るとともに、人獣共通感染症の予防対策として捕獲した個体の適切な解体処理技術の知見を有した狩猟者の養成。
対象者・講師 (人数も記載)	○ 対象者 県内狩猟者 ・知識講習会：22名参加 ・技能講習会：15名参加 ・狩猟体験：16名参加 ○ 講師 ・知識講習会：合同会社東北野生動物保護管理センター、 MOMIJI 株式会社 ・技能講習会：ヌマガンショップ ・狩猟体験：釜石大槌猟友会
内容	○ 知識講習会 県内大型獣の現状及び取組、ジビエ講習会、東北地方の鳥獣被害と対策、大型獣の捕獲方法とその種類、効率化・省力化を目指した ICT 等最新技術の活用 ○ 技能講習会 射撃場でのスラッグ弾・ライフル銃の射撃実習 ○ 狩猟体験 地元猟友会によるシカ猟の解説、巻き狩り体験、シカの解体実習、ジビエ試食会
方法	委託（委託先：合同会社東北野生動物保護管理センター）

評価方法	知識講習会に関して、大型獣類の捕獲方法とその種類、ICT の活用に関しては全員が満足又はやや満足であった。 巻き狩り体験については、参加者 16 名のうち、ふつう・ややわかりにくいのが 3 名おり、満足度も 4 名がふつうであった。
事業費	1, 9 3 6, 0 0 0 円
備考	

注 1：項目に沿って、実施した研修会等の具体的内容を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性の検証方法や事業効果の測定方法等を記入すること。

注 2：事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

3 2 の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

参加者は概ね満足しており、今後の活動に活かしたいという声が多かった一方、安全上の問題で参加人数の制限を行ったことに対しての不満も一部聞かれたことから、意欲のある従事者を増やすためにも技能講習会や狩猟体験の日数を増やすなどの対応が必要である。

特に技能講習会では、より時間を割き、1 人 1 人のレベルにあった指導を行う必要があり、それに対応できる講師の確保も必要である。

注：1 の課題及び 2 の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組の改善点や今後の認定事業者の育成の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。